

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2025年10月24日(金) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OX423 8 (X423 5)	メタネフリン・ ノルメタネフリン分画 (クレアチニン換算値) 4E040-0000-001-205	部分尿 2	U00 (Y)	冷蔵	4~6	220 ※5	LC/MS/ MS	メタネフリン クレアチニン換算値: 0.04~0.22 ノルメタネフリン クレアチニン換算値: M 0.09~0.32 F 0.13~0.41 ($\mu\text{g}/\text{mg}\cdot\text{CRE}$)	下記 参照

※5：生化学的検査（Ⅱ）判断料

●備考

- メタネフリン・ノルメタネフリン分画をクレアチニン換算する項目コードです。本検査をご依頼の際には、必ず「OC848 8 (C848 3)：クレアチニン（換算用）」もあわせてご依頼ください。
- 褐色細胞腫・パラガングリオーマのスクリーニングにおける本検査のカットオフは「正常上限の3倍以上の増加」とすることが「褐色細胞腫・パラガングリオーマ診療ガイドライン2025」で推奨されています。本検査における「基準値」の範囲とカットオフが異なる点にご注意ください。



● メタネフリン・ノルメタネフリン分画（クレアチニン換算値）

随時尿を用いて検査ができるため、褐色細胞腫・パラングリオーマの外来スクリーニングとして有用な検査です。

褐色細胞腫・パラングリオーマは副腎髄質から分泌されるホルモンであるカテコールアミン（アドレナリンおよびノルアドレナリン）を過剰に産生する腫瘍であり、副腎髄質に発生するものが褐色細胞腫、副腎以外に発生するものがパラングリオーマと定義されます。

メタネフリン分画とカテコールアミン分画は共に褐色細胞腫・パラングリオーマにおけるスクリーニング検査として用いられる検査ですが、近年では腫瘍組織においてカテコール-O-メチル転換酵素（COMT）が高発現であることからカテコールアミンの代謝が亢進するため、代謝産物であるメタネフリン分画の方がより高感度であることが知られています。

本検査はメタネフリン・ノルメタネフリンを測定しクレアチニン補正を行います。随時尿を用いて検査ができるため、褐色細胞腫・パラングリオーマの外来スクリーニング検査として有用です。

▼検査要項

検査項目名	メタネフリン・ノルメタネフリン分画（クレアチニン換算値）
項目コード (旧項目コード)	親：OX423 8 (X423 5) メタネフリン・ノルメタネフリン分画（クレアチニン換算値） 子1：— (D408 3) メタネフリン総 子2：— (D451 0) メタネフリン 子3：— (D452 7) ノルメタネフリン 子4：— (D504 8) メタネフリン総 クレアチニン換算値 子5：— (D519 0) メタネフリン クレアチニン換算値 子6：— (D571 4) ノルメタネフリン クレアチニン換算値
検体量	部分尿 2mL
容器	UO (Y) 尿用容器
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	4~6 日
検査方法	LC/MS/MS
基準値 (単位)	メタネフリン クレアチニン換算値：0.04~0.22 ノルメタネフリン クレアチニン換算値：M 0.09~0.32、F 0.13~0.41 ($\mu\text{g}/\text{mg}\cdot\text{CRE}$)
報告範囲 (単位)	メタネフリン総： 0.02未満、0.02~99999.99 (mg/L) メタネフリン： 0.01未満、0.01~99999.99 (mg/L) ノルメタネフリン：0.01未満、0.01~99999.99 (mg/L) メタネフリン総 クレアチニン換算値：0.02未満、0.02~99999.99 ($\mu\text{g}/\text{mg}\cdot\text{CRE}$) メタネフリン クレアチニン換算値：0.01未満、0.01~99999.99 ($\mu\text{g}/\text{mg}\cdot\text{CRE}$) ノルメタネフリン クレアチニン換算値：0.01未満、0.01~99999.99 ($\mu\text{g}/\text{mg}\cdot\text{CRE}$)
桁数	有効7桁、整数5桁、小数2桁
検査実施料	① 220点（「D008」内分泌学的検査「45」）
判断料	144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）
備考	表面参照

①「メタネフリン」、「メタネフリン・ノルメタネフリン分画」、「ノルメタネフリン」又は「遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画」のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

●参考文献

水村 千恵, 他: 医学検査68 (2): 276~280, 2019.

Xie Z, et al: J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci 1099: 83~91, 2018. (検査方法参考文献)

日本内分泌学会 褐色細胞腫・パラングリオーマ診療ガイドライン2025. (臨床的意義参考文献)